

Bridge ~市民病院と地域をつなぐ~

— 目 次 —

○退院支援の充実を図ります！

○トピックス

1 新任医師の紹介

2 手術支援ロボット『ダヴィンチ』の実績

○病診連携室(MCR)からのお知らせ

・病診連携室業務時間の延長について

・病診連携予約受付状況

・講演会のご案内

vol.2

2017. 5. 25

発行：豊橋市民病院 患者総合支援センター

退院支援の充実を図ります！

患者総合支援センター 主幹 小林 吉正



日頃より、当院の地域連携にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

高齢者の人口が増える社会において、地域包括ケアシステムの構築が推進される中、医療依存度が高い場合や生活基盤が不安定な場合など退院困難な要因を有する患者さんには、医療ソーシャルワーカーや退院支援看護師が入院早期から積極的に介入し、退院後に地域で安心して療養生活ができるよう、円滑な退院・転院支援を行うため、本年5月から各病棟に退院支援を専従で行う職員を配置するとともに、「退院支援加算1(※)」の施設基準を東海北陸厚生局に届出いたしました。

地域連携による機能分担と相互連携は、皆様方の協力なくしては成しえません。今後も円滑な退院・転院支援を行うべくスタッフ一同頑張っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

※退院支援加算1とは・・・

患者が安心・納得して退院し、早期に住み慣れた地域で療養や生活を継続できるように、保険医療機関における退院支援の積極的な取組みや医療機関間の連携等を推進するための評価として、平成28年度診療報酬改定により新設された。



退院支援加算1(A246)

イ 一般病棟入院基本料等の場合 600点

ロ 療養病棟入院基本料等の場合 1,200点

項 目	算定要件・施設基準
退院困難な患者の早期抽出	3日以内に退院困難な患者を抽出
入院早期の患者・家族との面談	7日以内に患者・家族と面談
多職種によるカンファレンスの実施	7日以内にカンファレンスを実施
退院調整部門の設置	専従1名(看護師又は社会福祉士)
病棟への退院支援職員の配置	退院支援業務等に専従する職員を病棟に配置(2病棟に1名以上)
医療機関間の顔の見える連携の構築	連携する医療機関等(20か所以上)の職員と定期的な面会を実施(3回/年以上)
介護保険サービスとの連携	介護支援専門員との連携実績

【トピックス1】

新任医師を紹介します！

☆ 4月1日付で、下記の医師が新たに着任いたしました ☆

岩井 克成 (イワイ カツシゲ)



1. 神経内科
2. 部長
3. 岡崎市民病院

4. 豊橋へは3度目の赴任となります。直前までは前任地にて、西三河南部東医療圏の状況を勉強させていただきました。年毎に病診・病病のみならず、介護・福祉・行政を含めた地域連携の重要性の増大をヒシヒシと感じます。よろしくお願いいたします。

1. 所属
2. 職制
3. 前任地
4. 一言お願いします

坂巻 慶一 (サカマキ ケイチ)



1. 消化器内科
2. 副部長
3. 刈谷豊田総合病院

4. 初めまして坂巻と申します。9年半ぶりに豊橋に戻ってまいりました。消化管が専門領域になり、特殊光による拡大内視鏡診断からESD治療を専門としています。東三河の医療に少しでも貢献できるよう頑張る所存ですので、何卒よろしくお願いいたします。

中野 優 (ナカノ マサル)



1. 小児科
2. 副部長
3. 名古屋市立大学大学院

4. 小児科の中でも腎疾患を専門にしています。ネフローゼや腎炎のような明らかな腎疾患に限らず、腎尿路系のことであれば何でもお気軽にご相談いただければと思っています。よろしくお願いいたします。

氏 名		所属	職制
小山 大輔	コヤマ ダイスケ	血液・腫瘍内科	医長
酒井 尊之	サカイ タカユキ	腎臓内科	医長
奥地 剛之	オクチ タカユキ	糖尿病・内分泌内科	医長
佐藤 雅基	サトウ マサキ	脳神経外科	医長
石井 菜々子	イシイ ナナコ	麻酔科	医員
服部 恭典	ハットリ キョウスケ	リウマチ科	医員
神谷 文隆	カミヤ フミタカ	腎臓内科	医員
長尾 有佳里	ナガオ ユカリ	産婦人科	医員
山口 慎人	ヤマグチ ノリヒト	耳鼻咽喉科	医員
坪内 秀樹	ツボウチ ヒデキ	呼吸器外科	医員
山田 剛大	ヤマダ タケヒロ	放射線科	医員
赤堀 友彦	アカホリ トモヒコ	眼科	専攻医(5年目)
梅村 将成	ウメムラ マサナリ	一般外科	専攻医(5年目)
竹本 直樹	タケモト ナオキ	耳鼻咽喉科	専攻医(5年目)
三浦 壽子	ミウラ トシコ	皮膚科	専攻医(5年目)
恒川 真央	ツネカワ マオ	皮膚科	専攻医(4年目)
尾瀬 武志	オセ タケシ	産婦人科	専攻医(3年目)
窪川 芽衣	クボカワ メイ	産婦人科	専攻医(3年目)
山田 梨紗	ヤマダ リサ	整形外科	専攻医(3年目)

【トピックス2】

手術支援ロボット『ダヴィンチ』による診療実績のご紹介

当院では保険適用されている前立腺悪性腫瘍疾患の手術において手術支援ロボット「ダヴィンチ」の運用を平成25年10月から開始し、平成26年度からは、自費診療である子宮悪性腫瘍疾患、直腸悪性腫瘍疾患、胃悪性腫瘍疾患についても開始しています。

現在、前立腺悪性腫瘍の手術においては、「ダヴィンチ」での手術が標準となっています。

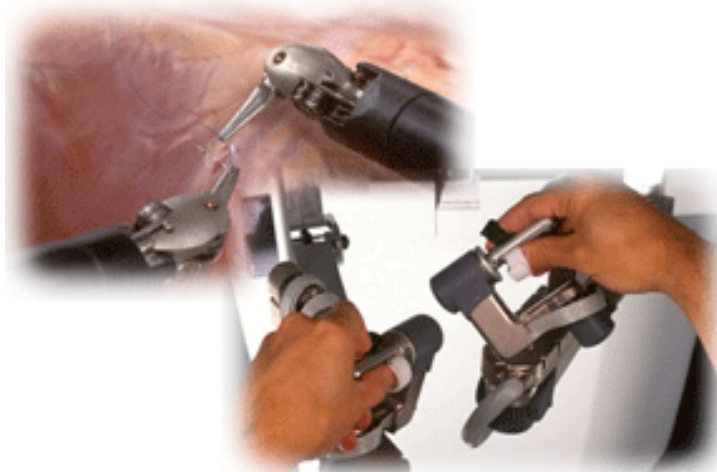
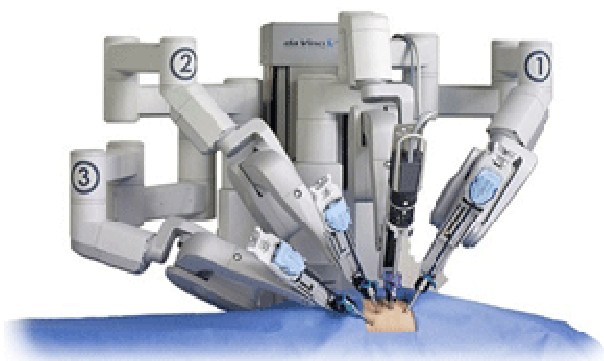
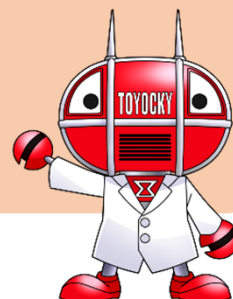
開始からの実績は下記のとおりとなっており、これまで(平成29年3月末まで)215例の実績があります。

ロボット支援手術は術後の痛みを緩和し、早期の社会復帰が可能となります。今後も、人にやさしい医療を目指し、症例を重ね、より高度な医療を提供してまいります。

『ダヴィンチ』とは？

内視鏡手術の一種で、大きな切開をせずからだの数か所に穴を開け、そこに内視鏡カメラや鉗子を差し込んで行う手術のことです。「ダヴィンチ」はロボット部・操作部・助手用モニターなどで構成され、ロボット部には先端に鉗子やメスなどを取り付ける3本のアームと1本のカメラが装着されています。

術者はケーブルでつながったコンソール(操作台)に座り、中に映し出される3D画像を見ながらアームを操り、患部の切除や縫合を行います。



◇『ダヴィンチ』による手術実績◇

平成29年3月末現在

診療科	手術名	保険適用	開始年月	実績				計
				25年度	26年度	27年度	28年度	
泌尿器科	前立腺悪性腫瘍手術	適用	H25.10	15	28	52	56	151
泌尿器科	腎悪性腫瘍手術	自費(※)	H28.4	—	—	—	2	2
一般外科	直腸腫瘍手術 など	自費	H26.10	—	3	27	17	47
産婦人科	子宮悪性腫瘍手術 など	自費	H26.8	—	8	0	7	15

※「腎悪性腫瘍手術」は、今後保険適用となる予定

病診連携室(MCR)からのお知らせ

業務時間の延長について

本年4月から病診連携室(MCR)は、業務時間を午後7時まで延長し、当院にご紹介いただく患者さんの予約受付につきましては、下記のとおり対応しています。

【病診連携室業務時間 午前8時30分から午後7時まで】



ただし、当日の返信対応は、午後6時45分までにFAX受診したものとし、それ以降に受診したものにしましては、翌日(翌日が休診日の場合は休診日明け)に返信いたします。

また、午後5時以降に受付したもののうち、当院医師等に確認を要するものについては、翌日(翌日が休診日の場合は休診日明け)の返信とさせていただきます、その旨をお電話にてご連絡いたします。

紹介受診予約受付件数の推移

病診連携室で受付する紹介受診予約は、年々増加傾向にあり、現在では1日平均約60件の受診予約を受付ており、年々業務は煩雑になっています。

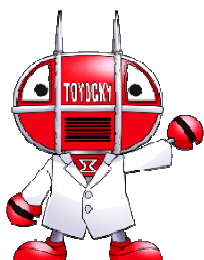
患者さんが当院に受診される際には、できる限りスムーズに受診していただけるよう事前の準備を行っておりますので、「紹介受診者票」には必要事項をもれなく正確に記載していただきますようご協力をお願いします。

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	対前年度
28年度	1,109	1,150	1,314	1,221	1,224	1,166	1,287	1,207	1,108	1,087	1,109	1,259	14,241	284
27年度	1,088	1,037	1,389	1,344	1,023	1,119	1,266	1,138	994	1,116	1,204	1,239	13,957	984
26年度	1,045	1,136	1,190	1,288	1,012	1,096	1,103	960	876	974	1,021	1,272	12,973	702
25年度	1,084	1,015	948	1,238	1,005	1,002	1,058	961	919	1,017	963	1,061	12,271	85
24年度	969	1,065	1,099	1,138	1,015	942	1,119	1,023	884	966	979	987	12,186	—

講演会のご案内

★ 第41回MCRフォーラム ★

- ・MCR特別講演 『CKD診療 up to date』
- ・講師:名古屋大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 教授 丸山 彰一 先生
- ・日時:平成29年5月31日(水)・場所:診療棟3階 講堂
- ・対象:地域の医療従事者の方ならどなたでも



この広報誌に関するご意見・ご要望は下記へお寄せください

✂ 豊橋市民病院 患者総合支援センター

〒441-8570 豊橋市青竹町字八間西50番地 TEL (0532)33-6111(代) 内線1424
FAX (0532)33-6230